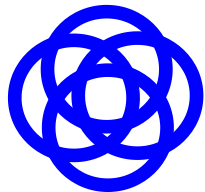


# 令和6年度 土浦市立都和小学校（小中一貫校） グランドデザイン



〈茨城県教育目標〉  
ひとりひとりの能力を開発し  
豊かな人間性をつちかう  
じょうぶな身体をつくり  
たくましい心を養う  
郷土を愛し  
協力しあう心を育てる

校訓 親切 誠実 勤勉

〈都和中学校区小中一貫目標〉 **自ら学び考え、心豊かに、たくましく生きる児童生徒の育成**

〈学校教育目標〉 **知・徳・体の調和のとれた豊かにたくましく生きる児童の育成**

〈土浦市学校教育の目標〉  
一人ひとりを生かす創意と  
活力に満ちた学校教育を推進し、  
「確かな学力」、「豊かな心」、  
「健やかな体」を育む  
教育の展開に努める

〈目指す学校像〉  
学校は、子どもたちの可能性を信じ、よさを引き出すところである。教師は、子どもの成長を身近に感じ、喜ぶことができる存在。そのような愛情ある姿勢が、児童や保護者との信頼関係の基盤となる。



〈目指す児童像〉  
**輝く笑顔 つながるきずな  
元気にはばたくつわっ子たち**



〈目指す教師像〉  
「出番・役割・承認」…児童がそれぞれのよさを発揮し、それを互いに認め合い、高め合う関係づくりを、全ての教育活動で行う。教師は、よさを発揮する場や関係性を生み出す仕掛けをしていくこと、「ほめる」のではなく、「認め」ていく。

**到達目標**  
☆授業が「楽しい」「わかる」と感じている児童…95%  
☆「進んで読書をしている」児童…80%  
☆50冊読書…80%目標

**学校経営スローガン** すべての子どもの可能性を引き出し みんな笑顔でわくわくする学校づくりの推進  
～すべての教育活動で、関わり合いながら自己有用感を高める～

**到達目標**  
☆「学校・学級の生活は楽しい」と感じている児童…100%  
☆「先生は自分のよいところを認めたり、励ましたりしてくれる」と感じている児童…95%

**組織目標**  
・他者との協働や交流をとおして考えを広げ深め、「わかる」「できる」が味わえる授業の充実  
・自ら目標やルールを設定し、問題解決を図る言語活動の充実  
・時間外勤務45時間超えゼロを目指しつつ、働きがいのある職場環境づくりの推進

**校内研修テーマ**  
自ら学びに向かう児童の育成  
～算数科における「わかる」「できる」の学習の積み重ねを重視した指導方法の工夫を通して～

**確かな学力**  
○知識・技能の確実な定着を図る指導の充実  
・学習習慣の定着と積み重ねを重視した指導の充実  
・漢字、計算チャレンジテストによる定着の確認  
○他者との協働や交流をとおして考えを広げ深め、「わかる」「できる」授業のための指導法の工夫改善  
・授業力向上のためのOJTを活用した指導法の研究  
・単元を見通して、自分の考えを広げたり深めたりする場面の設定  
・学習の見通しを立てたり、振り返ったりする活動の充実  
○小中連携のため段階的な教科担任制の導入  
・5～6年の専門教科（理社）による交換授業  
・音楽・図工の専科教員による授業  
○読書や家庭学習の習慣化  
・朝の読書タイムの充実 ・都和地区家庭学習の手引きの活用

**豊かな心**  
○いじめの防止等に向けた組織的な取り組みの推進  
・にこにこ集会（人権集会）」等の実施による風土づくり  
○日常生活の諸問題を児童が解決する取組の充実  
・「わくわくクラスタイム」による学級遊びの充実  
○よりよい人間関係を築き、安心して学び合える共感的な集団の基盤を形成する指導の充実  
・自己有用感、学習や生活への意欲を高める評価の改善  
・「つわっ子班」縦割り班活動の充実  
○心に響く道徳教育の充実  
・「よつわスタイル」の定着  
○児童一人一人に寄り添う指導の充実  
・教育相談の計画的実施（年3回）

**健やかな体・安心安全な学校づくり**  
○運動の習慣化を図るための工夫  
・体力づくりの日常化（サーキットトレーニング）と外遊びの奨励  
・体力アップ推進プランの改善・充実 ・体育的行事の工夫  
○健康・安全に関する自己管理能力を育てる教育活動  
・生命（いのち）の安全教育の推進  
○「食に関する指導」の充実  
・栄養教諭による学級指導等  
○安心安全な学校づくり  
・様々な場面を想定した避難訓練等の実施  
・交通安全教室等の実施  
・安全マップの作成  
・家庭・地域との連携による登下校の安全確保

**開かれた学校づくりの推進**  
○学校運営協議会の導入と活動の充実  
○学校だより、HP等による積極的な情報発信  
・保護者へ随時タイムラインの発信  
・HPの定期的更新  
○保護者や地域の声を生かした学校経営  
・外部アンケートの実施  
・学校関係者評価の充実  
・組織的、継続的な学校運営の改善  
○地域人材の教育活動への活用  
・地域人材の発掘と積極的な活用  
・学校段階間の連携（幼保小・小小・小中の連携）

**教職員の資質能力の向上**  
○チームTSUWAとしての組織力と経営参画意識の向上  
・報告、連絡、相談、確認、記録の徹底と危機管理体制の確立  
・未然防止と初期対応の充実  
・OJT研修を要とした若手教員・ミドルリーダーの育成  
○コンプライアンス研修による服務規律の厳正な保持  
・「自分事として考える」意識の強化 ・風通しのよい職場環境づくり  
○多様な職員研修による教師力の向上  
・ICT、AED研修等の実施  
○小中一貫教育・小小連携の実践  
・3部会による連携強化・中学校との交流促進  
○教員評価の充実  
・研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励

**自立と社会参加に向けた特別支援教育の推進**  
○全教職員の取組による特別支援教育の充実  
・校内支援体制の強化と校内支援委員会の定期的実施  
・児童の適切な学びの場の決定や見直し  
○一人一人のニーズに応じた指導の充実  
・個別の支援計画の作成と指導の充実  
・通常の学級や通級における指導・支援の充実  
○積極的な交流及び共同学習の実施  
・小中連携シートの作成  
○家庭及び専門機関との連携  
・「個別的教育支援計画」を活用した関係機関との連携の強化

子どもと向き合う時間を確保し、効果的な教育活動を展開するための働き方改革の推進  
・繁忙期における5時間授業の実施 ・校務支援システムの活用 ・「リフレッシュデー」の実施によるメリハリのある勤務